

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部 会 名	小学校 図画工作部会

1 提案テーマ 『つくりだす喜びを通して、豊かな心をはぐくむ』

2 単元(題材) 「うっしてあそぼう」

3 学年 第1学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

②感じ取ったことを手や体全体を十分に働かせて表現したり、描いたりつくったりする活動や鑑賞する活動を、
〔共通事項〕と関連させる指導と評価の一体化

5 学習指導要領との関連

第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2内容

A 表現 (1) ア 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくこと。

イ 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくこと。

B 鑑賞 (1) ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。

〔共通事項〕(1) ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。

6 実践に向けての課題意識

絵の具を使う学習を「フィンガーペインティング」からスタートし、その後、筆の動かし方や水加減での色の調節、または混色に挑戦する等様々な技法表現を使った活動を行ってきた。活動を進めていく中で、子どもたちから「みんなで大きな作品を作りたい。」「いろいろな形をぬってみたい。」等の声が出てきたことからこの題材を設定した。

今回は、共同絵の具から子どもたち自身が好きな色の絵の具を自由に取る「絵の具バイキング」を取り入れ、好きな形に好きな色、好きな場所に「自由に描こう!」という好きなものづくりの活動を通して偶然にできた色や形などを試しながら、想像力や発想力を培ってほしいと考えた。また教師から与えられたものだけではなく、子ども自身が「こうしたい。」と表現できるような場作りにも考慮した。

7 実践の概要

○指導方法の工夫

- ・材質や形、大きさが異なる様々な材料や用具、表現方法を提示し、児童が試しながら自分の表したいことを表現できるような場を設定した。

○評価の工夫

- ・自由に動ける広いスペースの集会室を使用し、材料の置き場所やロール紙を工夫することで、子どもたちが交流を深め、お互いの作品を見合う活動をして、鑑賞の評価をした。

○言語活動の充実

- ・製作場面で友だちと見せ合い、違いやよさに気付き、互いに認め合う活動を通して、児童一人ひとりの発想を広げることができる時間を確保した。

8 成果と課題

〈成果〉・材料や用具の面白さに気付き、発想の広がりや意欲的な姿が見られた。

- ・友だちと互いに交流する中で、イメージが広がり、楽しんで活動に取り組むことができた。

〈課題〉・活動内容をより効果的に行うために、材料や用具の用意を児童が行うようにする等の工夫が必要だった。

9 予想される協議の柱

- ・低学年における発想の広がりを生む用具や材料の工夫について